



新聞への作文投稿がんばっています！

本年度も、子どもたちが書いた作文を新聞へ投稿しています。11月末までにのべ38人の子どもたちの作文が宮崎日日新聞や夕刊デイリーに掲載されました。1か月に約5人の子どもたちの作文が載っている計算になります。本当によくがんばっていると思います。掲載された作文は学校だよりでも紹介し、校長室前の廊下にも掲示しています。新聞に載ると自信にもつながりますね。これからもどんどん挑戦してほしいと思います。



子どもたちに伝えたいこと（5年生）

11月17日に5年生を対象に「子どもたちに伝えたいこと」の講話を行いました。この事業は、延岡市教育委員会がキャリア教育の一環として、学校が求める人材を派遣し、お話をしていただくものです。今回は岡田生花店の岡田明利さんをお招きして、生花店を経営する上での喜び、生活の中で心に留めておいてほしいこと、未来の社会などについて話していただきました。5年生は、「個性を大切にする」、「友だちを大切に、夢をもち何事もあきらめない」、「挑戦しない限り何も達成できないので、できないけどやる」などの感想をもっていました。6年生は12月に予定しています。



2回の避難訓練

11月に2回の避難訓練を実施しました。16日は、地震の後に津波の発生を想定した避難訓練を行いました。揺れている最中は机の下に避難し、揺れが収まってから津波に備えて、中校舎3階の教室に学年別に避難しました。合い言葉の「お（おさない）・か（かけない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）・あ（あわてない）」を守って避難していました。

また、22日には、不審者対応の避難訓練を行いました。児童は、教室で扉を閉めてバリケードを作ったり、反対側から南校舎へ避難したりしました。2回の避難訓練を通して、自分の命を守る方法を学びました。



【裏面へ続く→】

友達の作文が新聞に載りました！

ぼくのおじさん

三年 児玉 健吾

土曜日、ぼくは、おじさんと、かんだのさん歩に行きました。かんだは、豆しばでとても元気で、いつもさん歩に行かないとおこります。

さん歩のと中に公園によりました。そして、かけっこをしました。おじさんは、う戸田先生みたいに足がはやくて、びっくりしました。

おじさんは、せがたかくて、いつもここにこしてやさいです。そのほかにも、うちゅうせんかんヤマトやゲゲのき太ろうなどの古いアニメもよくしています。だから、おじさんと、話すのが、楽しいです。

これからもおじさんといろいろな話をしたり、あそびに行ったりしたいです。



【令和4年9月17日夕刊デイリー】

目指せ漢字五十問テスト百点

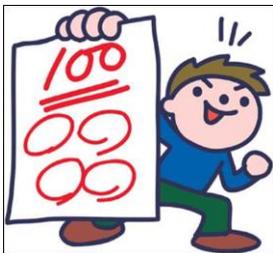
五年 矢野 遼平

もうすぐ、ぼくのきらいな「漢字五十問テスト」があります。だから、百点を取るためにがんばりたい事が二つあります。

一つ目は、毎日、ていねいにノートに漢字を書く事です。毎日の宿題では漢字ノートのがでます。宿題では書く数が多くて、ついでに字を雑に書いてしまう事があります。でも、そうしたら漢字が覚えられないと思いい、最近になつて字を、ゆっくり小さく書くようにしました。そして、字がきれいになつて、花丸グッドが付くようになりました。だからこの調子で、字をていねいに書いて、漢字五十問テストに生かしたいです。

二つ目は、学校で習った漢字を、日常で使う事です。ぼくはよく、学校で習った漢字を使わない時があります。でも、それだと、せつかく覚えた漢字を、使わないで、そのままわすれてしまうと、ぼくは思いました。なので、習った漢字は使いたいと思いました。

この二つの事を、心がけて、漢字五十問テストで百点を取りたいです。



【令和4年9月17日夕刊デイリー】

ヒメボタルをみたこと

三年 松下 陽楠

土曜日に、ひいじいちゃんの家にとまりに行きました。

おじさんが手紙で(夜の八時〜九時まで近くの山にヒメボタルがいるよ。)と教えてくれました。

私はライト、お母さんははんしやさいを手にもいて山まで歩いて行きました。さか道で暗くてちよつとこわいなと思つたけど、ヒメボタルがいたらいいなという気持ちで行きました。

山についたら、きれいな小さい黄色の光がいくつもパカパカてんめつしていて、お母さんが「これがホタルだよ。」と教えてくれました。

私は(はじめて見れてうれしいな星みたいでとてもキレイだな。)と思いました。

おじさんが、ホタルにライトをあてないこと、しずかにすること、近づかないことを教えてくれたので、私はそれを守ってしずかに、少しはなれたところから見ました。雨あがりにはホタルがたくさんいるそうなので、つぎは雨上がりの夜に行きたいです。



【令和4年9月17日夕刊デイリー】